

2050いいだゼロカーボンシティ宣言 ～環境文化都市宣言に基づきゼロカーボンを目指す共同声明～

飯田市は、令和3年3月19日にゼロカーボンシティ宣言を行い、**2050年までに、飯田市域におけるCO₂排出量を実質ゼロにすることを目指すことをしています。**

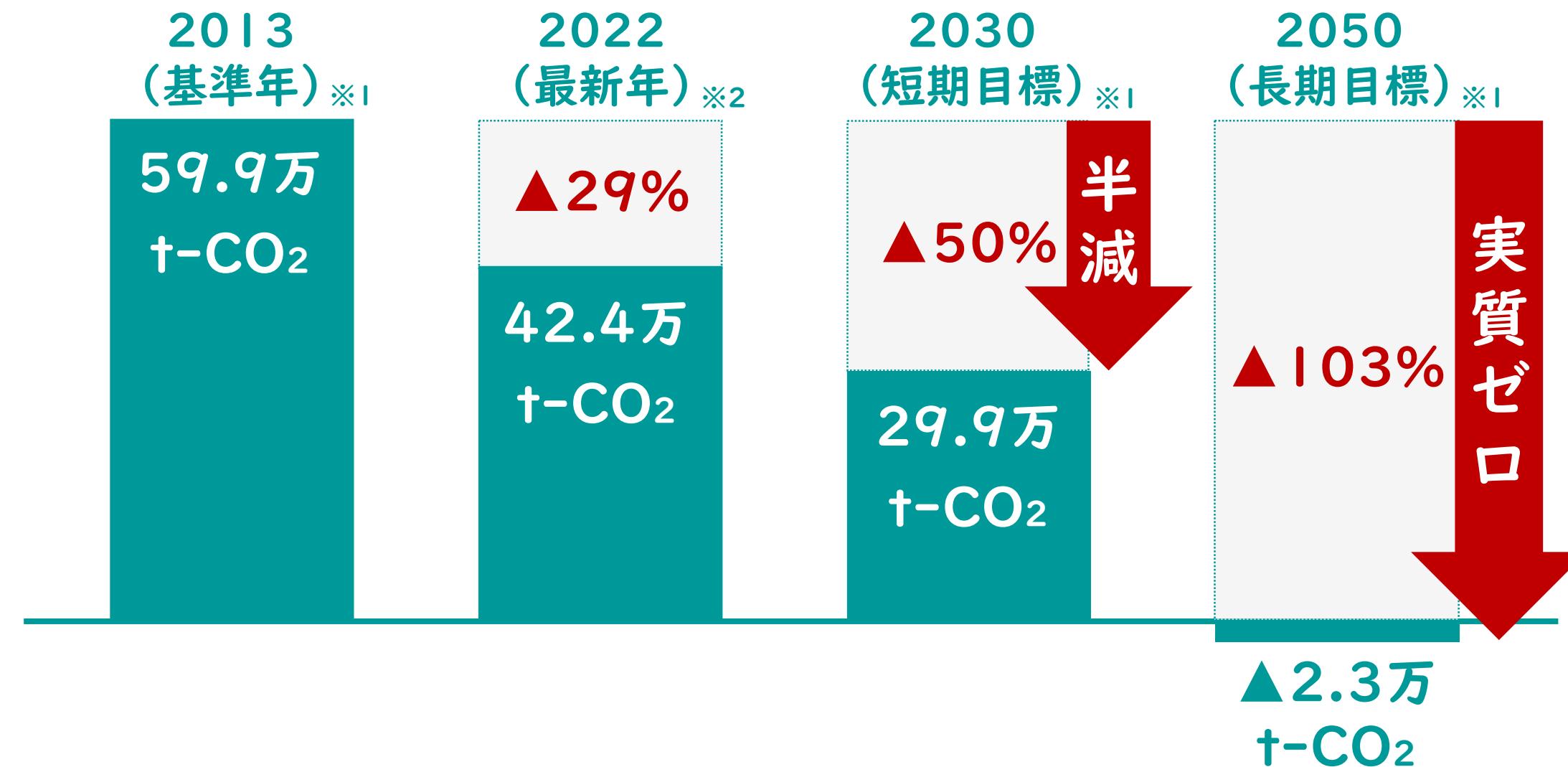
ゼロカーボンシティを実現するための市民生活、事業活動、行政施策などを、市民、事業者、行政などが協働して地域ぐるみで力強く進めていくことを、市民の代表である飯田市議会、事業者の代表である飯田商工会議所との3者共同で誓いました。



宣言書

飯田市域でのCO₂排出量削減目標

飯田市域のCO₂排出量から森林吸収量を差し引いた正味排出量を実質ゼロ以下にする計画です。



※1 2050年いいだゼロカーボンシティ推進計画 ※2 飯田市調べ

環境に関する市民意識 ※

気候変動の影響を
心配している市民の割合 90.7%

目指す都市像
"環境文化都市"の認知度 60.7%

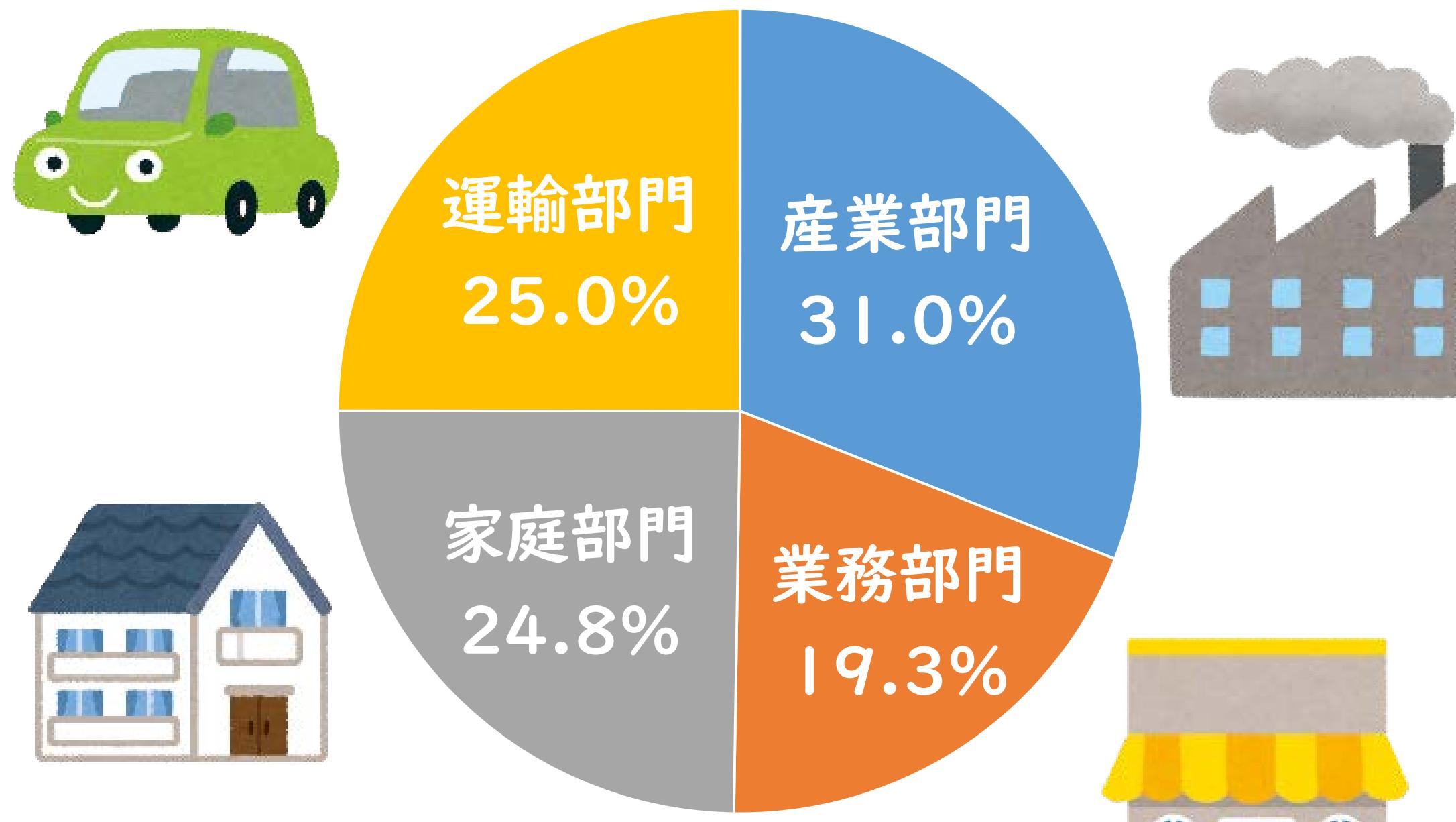
"2050いいだゼロカーボンシティ宣言"
の認知度 27.7%

省エネ・節電を心掛けている
市民の割合 88.9%

ゼロカーボンシティ実現のために**全市民で取り組む必要があります。**

※ 令和6年度環境に関する市民アンケートから

飯田市域の令和4年度排出部門別CO₂排出量割合 *



それぞれの排出部門における
着実な取組みが必要です。

* 飯田市調べ



2050年いいだゼロカーボンシティを目指して

ゼロカーボンシティ実現に向けて

へらす

つかう

かえる

吸収する

つくる

学び・実践

の取組を展開しています

へらす

省エネルギーの加速的推進

2023年度、事業活動に係るエネルギーコストの削減、CO₂排出削減を目的に、中小企業を中心とする事業者が行う設備更新、再エネ導入を支援する「エネルギーコスト削減促進事業」を実施しました。

支援件数：59件



CO₂削減効果※：137.6t-CO₂/年

※ 導入予定設備の削減電力量、発電量等に基づき独自に算出

かえる

持続可能な生活様式への転換

飯田版ZEH仕様とは、国が進めるエネルギー消費実質ゼロ住宅の基準であるZEH（ネットゼロエネルギー・ハウス）を参考に、地域の特色を評価に盛り込んだ、健康新築住宅の仕様です。

2022年度に「飯田版ZEH普及促進事業」を創設し、飯田版ZEHが普及し始めています。

補助実績の累計

15件 (2025年3月現在)



つくる

地域産再生可能エネルギーの創出

1997年から太陽光発電設備設置への補助を実施しており、着実に普及してきています。

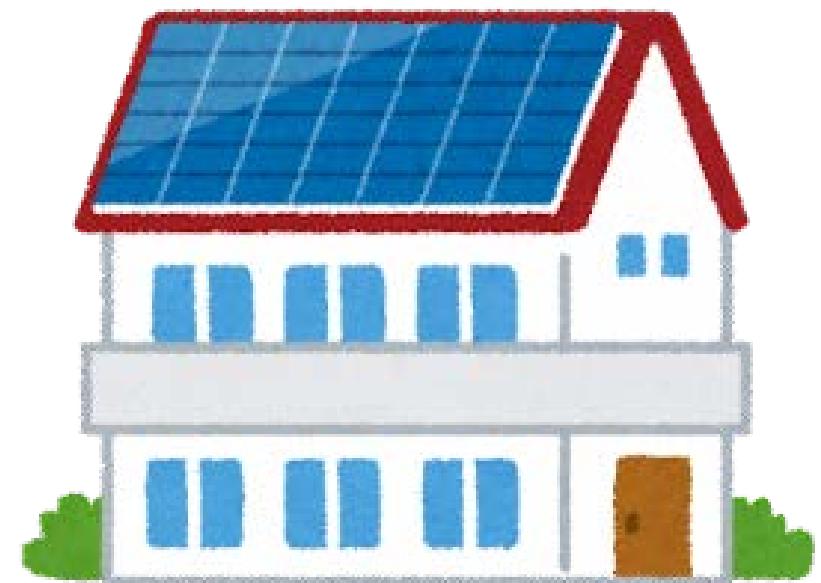
市の補助制度活用による
太陽光発電設備の普及率※

2005年度末

2.9%

2024年度末

17.1%



※ 補助件数÷戸建て住宅数（住宅土地統計調査より）

つかう

地域産再生可能エネルギーの活用

市内の地域新電力である飯田まちづくり電力株式会社との間で「地域のエネルギーに関する包括連携協定」を締結し、地域産エネルギーの地域内消費の取組みなどを実施しています。

飯田まちづくり電力から供給される電力に占める
飯田下伊那地域産の再生可能エネルギーの割合 ※

2019年度

24.1% 

2023年度

35.9%

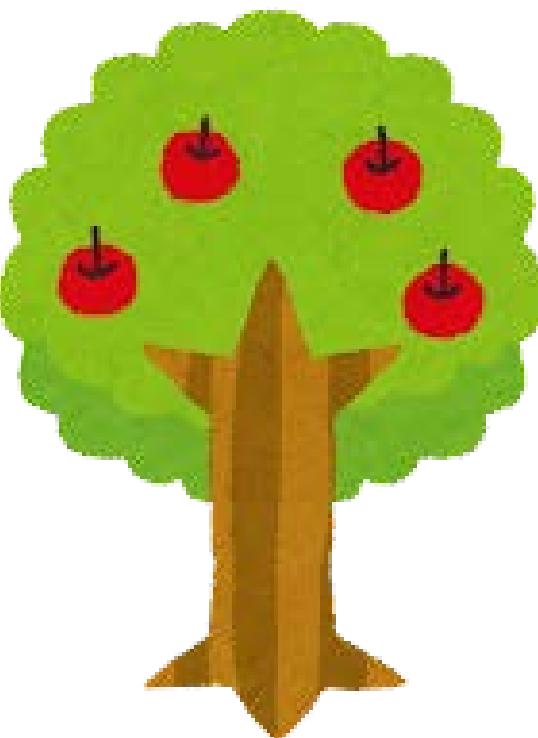
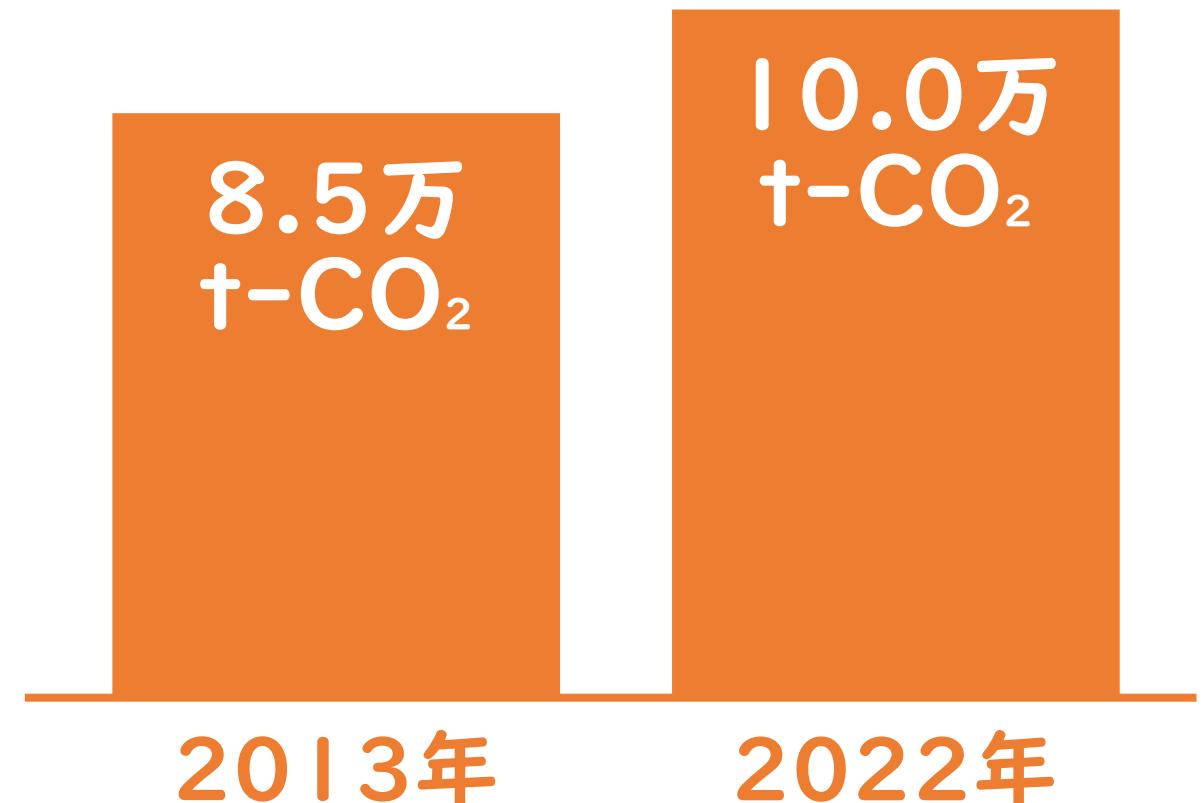
※ 飯田まちづくり電力株式会社からの報告による

吸収する

森林整備による吸収源の確保

飯田市域の8割以上を占める森林の整備を行い、
CO₂吸収源を着実に積み上げています。

森林整備によるCO₂吸収量 ※



※ 間伐面積×吸収係数の積上げ

学び・実践

環境問題を知り、学び、実践する

2022年に、環境文化都市づくりプラットフォーム「うごくる。」を設立し、脱炭素やSDGsを学ぶ機会や、環境問題などについて自由に語り合う機会を作るとともに、自主的・主体的な取組みを支援しています。

行動する未来はすごい、
うごくる。

環境文化都市づくりプラットフォーム

うごくとステキな未来がくる。



ゼロカーボンシティ実現のために
一緒に取り組みましょう。

何から
始める？



飯田市ウェブサイト
ゼロカーボンシティ推進課ページ

いいだゼロカーボン



Instagramでも
情報発信中

@iida.zero_carbon

